

新東広島市立美術館の竣工について

新東広島市立美術館は平成30年6月に着工し、建設工事を進めており、令和元年11月29日に竣工予定です。



完成予想図

1 概要

(1) 竣工(予定)日 令和元年11月29日(金)

(2) 施設概要

- ① 名称 東広島市立美術館
- ② 所在地 東広島市西条栄町9番1号
- ③ 設置目的 市民の美術品を鑑賞する機会の拡大及び美術に関する創造的な活動の支援を図る。

④ 構造 鉄筋コンクリート造 地上4階建(建築基準法上)、実運用3階

⑤ 建設工事費 21億2552万6400円(建築、電気、機械合計)

(3) 今後のスケジュール(予定)

令和元年12月 新美術館に文化課美術館係及び指定管理者が入居

令和2年4月 貸施設(アートギャラリー、アートスペース)の予約受付開始

令和2年11月 開館 所蔵作品を中心としたコレクション展を開催します。
その後、全国巡回展を含む特別展等も開催します。

※コンクリート造の建築物では、通常、微量のアルカリ性物質等が発生します。人体への影響はほとんどありませんが、絵画等の美術品に悪影響を及ぼす可能性があるため、換気や空調用フィルターにより除去する期間が必要です。この期間を「枯らし期間」といいます。一般的に、躯体立ち上げから2夏以上が必要とされています。

2 目指す美術館像

「育成・創造型美術館」の実現を目指します。

《ミッション》 暮らしとともにある Art、生きる喜びに会う美術館

4つの基本理念

基本理念実現のための具体的事業

鑑賞 ふれる

優れた文化や芸術にふれる

- ・年4回の企画展の開催
- ・所蔵作品を中心にした常設展の開催

育成 はぐくむ

地域の文化や人をはぐくむ

- ・市民の芸術活動の発表の場としてアートギャラリーの活用
- ・東広島市美術展の開催

創造 つくる

個性豊かな文化を創造し発信する

- ・アートスペースを活用したワークショップや学芸員によるアカデミック講座の充実

交流 つなぐ

人が集い、交わり、ひろがる

- ・東広島芸術文化ホールくららや西条中央公園との一体的活用の推進
- ・談話のできるロビー空間の確保

3 特徴

- (1) 新美術館は、市の中心市街地の「文化・芸術・交流ゾーン」に位置し、市民の文化芸術の拠点として、東広島芸術文化ホールくらはや西条中央公園との一体的な活用を図ります。
- (2) 東広島市立美術館では、これまでの収集方針の柱を
- ① 日本の近現代版画
 - ② 中国地方を中心とした現代陶芸作品
 - ③ 郷土ゆかりの作家の作品
- としており、今後もこれらを中心に市民の皆様に鑑賞していただく作品を収集していきます。
- (3) 充実した展示室では、今後は所蔵作品を常設展として鑑賞することができます。
- (4) 新たに次の機能を整備し、市民の皆様と共に文化を育み、創造し、発信します。
- ①アートスペース ワークショップやアカデミック講座を開催します。
 - ②アートギャラリー 市民の皆様の芸術の発表の場となります。

4 運営体制

展覧会の企画や美術品の収集などは市職員の学芸員が行いますが、施設の管理等につきましては指定管理者(※)が行います。

区分	内容	担当
学芸普及部門	展覧会の企画等	東広島市直営
事業運営部門	展覧会の運営、広報等	指定管理者
維持管理部門	施設の保守管理等	

※指定管理者：株式会社イズミテクノ（令和元年11月1日～令和6年3月31日）

(参考資料1) 現美術館との比較表

	新美術館	現美術館	対比
敷地面積	1,805 m ²	888.0 m ²	約2倍
建築面積	1,386 m ²	338.9 m ²	約4倍
延床面積	3,947 m ²	641.2 m ²	約6倍
展示室	約900 m ²	364.1 m ²	約2.5倍
収蔵庫	約400 m ²	47.8 m ²	約8倍
アートギャラリー (市民ギャラリー)	約100 m ² ^{※1}	施設なし	くらは市民ギャラリー 約119 m ²
アートスペース (創作室兼会議室)	約120 m ²	施設なし	

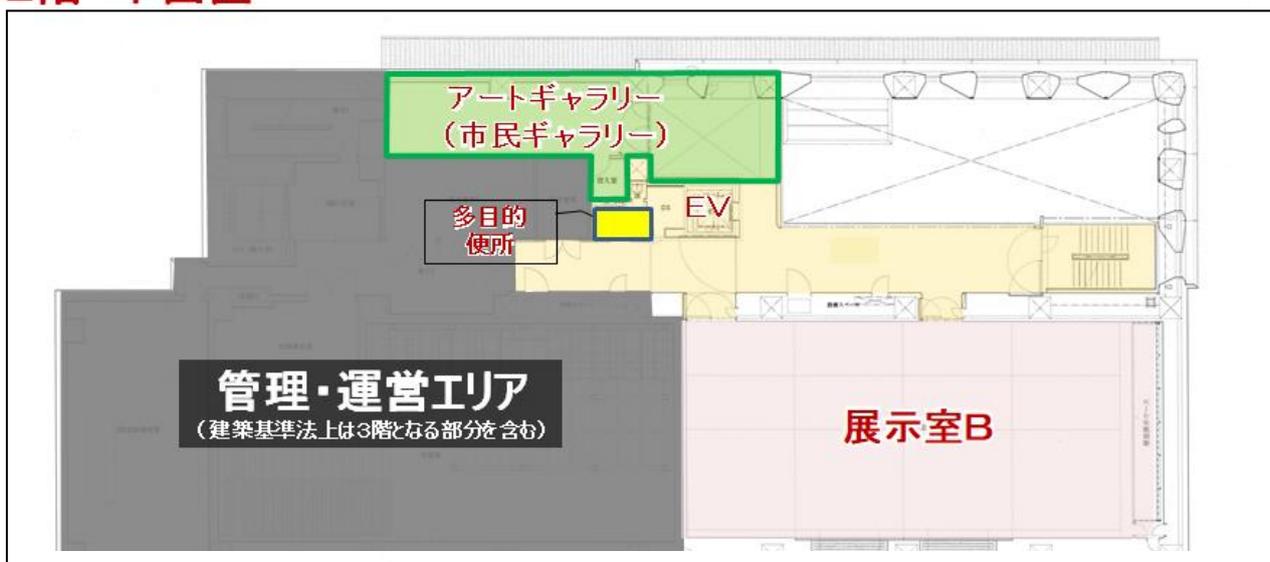
※1：ロビー専有部分を含む。



1階 平面図



2階 平面図



3階 (建築基準法上は4階) 平面図

